



【校訓】

志中だよい

進取 誠実 協力

南三陸町立志津川中学校

第14号

令和7年1月8日発行

明けまして おめでとうございます

今日から3学期がスタートしましたが、どんな冬休みを過ごしたのでしょうか。3年生は、勉強に明け暮れた冬休みだったのではないかでしょうか。正月と言えば、2、3日に大学箱根駅伝が行われ、青山学院大学の2年連続8度目の総合優勝で幕を閉じました。疲れを感じさせないすてきな笑顔で、ほっぺに人差し指をあてながら、大会新記録で101回大会のゴールテープを切ったシーンに感動を覚えた人が多かったことでしょう。

今年度は、大学3大駅伝の出雲駅伝を制し、全日本駅伝をアンカー区間で逆転して初めて制するなど勢いに乗る國學院大學が優勝候補の筆頭にあげられていました。そして、両駅伝で総合2位の駒澤大学、昨年箱根を制した青山学院大学が3強と言われていました。各大学が、箱根路においてそれぞれの目標を達成するために色々と作戦を練り練習してきました。その中でも、青山学院大学の原監督は大会前、毎年恒例の作戦名を「あいたいね！大作戦」とし、その意図を「大手町のゴールでチーム全体で笑顔で会いたいし、ファンやスポンサーと喜び合いたい。」と話していました。青山学院大学は、出雲駅伝、全日本駅伝ともに一時はトップを走ってはいたものの、最終順位はともに3位と納得のいかないレースが続いていました。最後の箱根駅伝は、他の駅伝と違って山登りと山下りがあり、そこを極めれば勝機があるとそこに賭けた選手がいました。そして当日、1区は10位と出遅れたものの、2区が区間新記録で追い上げ、4区の4年生も区間賞で繋ぎ、5区山登りで逆転、さらに区間新記録の走りで往路優勝を成し遂げました。次の日も、6区山下りでMVPを勝ち取る区間新記録でさらに差を広げ、9区で4年生のキャプテンが笑顔で繋ぎ、大会新記録で優勝のゴールテープを切りました。ゴールした後もみんな笑顔で生き生きとしている姿に、重圧の中やりきった充実感を私は強く感じとり、おもわず目頭が熱くなりました。

また、給水においても、様々なドラマがありました。体調が戻らずエントリーされなかつた4年生の留学生が行ったり、前日に走ったキャプテンが後輩のために、65歳の教授が29歳の東大大学院のランナーに、卒業した兄が弟のためなどなど。中でも、青山学院大学のキャプテンが主務の選手にどうしてもとお願いし、笑顔で乾杯し一緒に給水しながら走っている姿に4年間苦楽をともにした仲間の絆を感じ、ただただ感動でした。

中学校生活はあっという間に過ぎます。精一杯努力して、自分自身が掲げた感動のゴールテープを切りたいですね。



第3学期 始業式



本日より、3学期がスタートしました。1校時に始業式があり、各学年の代表生徒が抱負を発表しました。校長の式辞にあったように、一日一日を大切にし、次のステップに向けてレベルアップを感じられるような3学期にしてほしいと思います。

3学期のスタートにあたり、全校生徒128名が力を合わせ、実現してほしい目標が一つあります。それは「最高の卒業を迎えよう」ということです。

3年生の皆さんの卒業式は3月8日土曜日です。皆さんが志津川中学校で過ごすのも、あと2ヶ月となりました。この間には受験もあり、皆さんのこれまでの人生の中で最も重要な2ヶ月となります。一日一日がこれまで以上に貴重なものになります。大切に過ごしてください。大切に過ごすというのは、周りにいる友達や先生、後輩たち、家族のありがたさをかみしめ、感謝や思いやりの気持ちがきちんと伝わるような言葉、態度で、丁寧に過ごすということです。特に、これまで一緒に過ごしてきた学年の仲間たちと、この2ヶ月で良い思い出を更に積み重ねてほしいと願っています。

今週日曜日に私は「南三陸町二十歳の輝き式典」に呼ばれています。昔の「成人式」と呼ばれるものです。中学校を卒業し、それぞれの道を歩んでいる仲間たちが、二十歳の年の成人の日に集まります。また、その後も十年に一度くらいのペースで同窓会が行われます。そこで、互いの近況を語り合い、中学校での3年間の思い出を大笑いしながら振り返り、自分たちの人生の根っこがこの仲間たちとあることを感じ、一人ではないと確認し、またそれぞれの人生を進めていくことになります。これから的人生の節目節目で集合し、励まし合う。そんな仲間たちが、今隣にいます。今はあまりにも身近すぎて、その大切さに気付いていないかもしれません。気の合う人も、気の合わない人も、一緒にいつもいるグループの人も、めったに話をしなかった人も、実はつながっています。そのつながりをこの2ヶ月で強くしてほしいのです。

また、希望する進路を確実に実現してください。志津川中学校の高校受験は個人戦ではなく、団体戦です。「高校に合格するだろうか。」という不安が、この2ヶ月の間に時々、波のように押し寄せてくるでしょう。でもそれはみんな同じです。志津川中学校3年生がみんなで団結し、学習に向かう環境をつくり、励まし合って、その波を乗り越えてください。

1・2年生の皆さん。「最高の卒業」のためには、皆さんの力が不可欠です。3年生に、「志津川中学校を安心して任せられる」「安心して卒業できる」と感じてもらえるよう、3学期も学習に、部活動に、委員会等の各活動に、それぞれ主体的に取り組んでほしいと思います。2年生はすでに「志津川中学校の顔」です。「まだまだ3年生のようにはできない。」と思っているかもしれません、「もうすぐ、学校の最上級生になるというのだ」という自覚をもって、この2ヶ月を過ごしてください。1年生は4月には後輩を迎えることになります。「頼りになる先輩だ」と思われるよう、自分の理想とする先輩像に自分を近づけていってください。そして1年生も2年生も、卒業を間近にした3年生の姿から学んでください。進路を実現するためにどのような努力と覚悟が必要であるのか、中学校の卒業までにどんな仲間づくりをしなければならないのか、3年生の姿から感じ取ってください。

また、全校の皆さんには健康に過ごしてほしいと思います。3年生がこの人生を左右する正念場を乗り切るためにには健康でいることが第一です。1・2年生も含め、手洗い・換気など、一人一人が地道に感染症対策に努めていってください。自分のために、仲間のために、学校全体が健康への意識を高く持っていきましょう。

全校生徒が3年生の卒業の時を意識して2ヶ月を過ごし、自分がやらなければならないことを見極め、一日一日を大切に過ごしてこそ、「最高の卒業」を迎えることができます。みんなで力を合わせていきましょう。3学期も皆さんがあらゆる面で一致団結し輝く姿に期待します。

(始業式 校長式辞抜粋)